



【位置図】



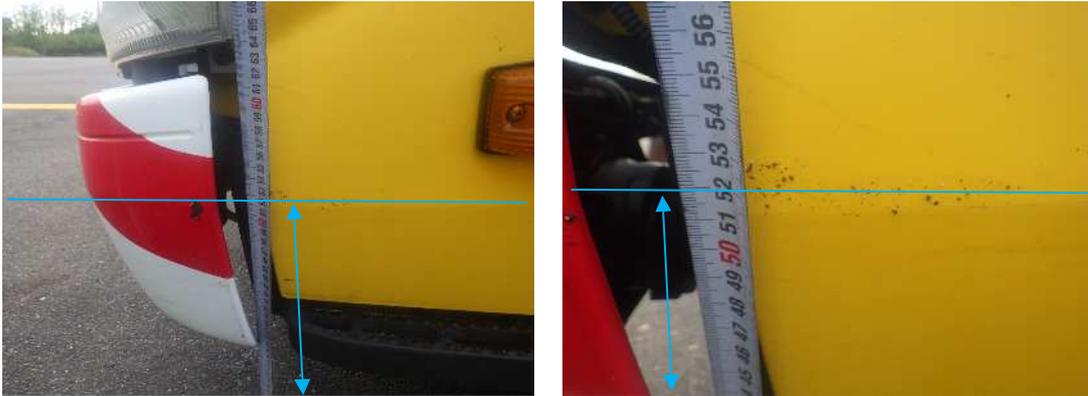
【事故発生現場状況】 ※事故発生 2 時間後



【損傷車両状況】



冠水水位想定高さ 520 mm



【発生原因および再発防止対策】

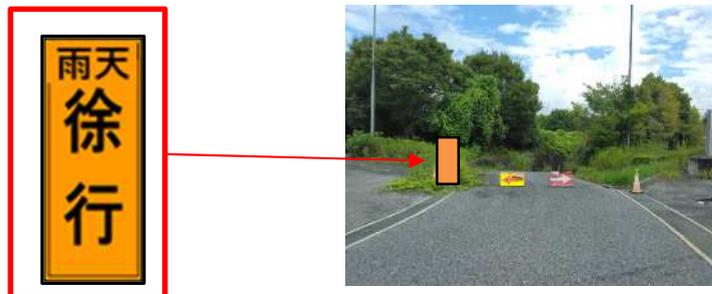
- ① 冠水しているにもかかわらず進入してしまった。

⇒水位を問わず、当該箇所が冠水している場合は内プラでの反転を禁止し、反転が必要な場合は最寄りの IC を経由する。

⇒アンダーパス手前に冠水対策用排水ポンプが設置されているが、上手く稼働してないようだった。今後も同様な事象が想定されることから、冠水リスクを減らす対策について豊田保全に依頼する。

- ② 冠水の影響もあり既存の標識の確認を怠った。

⇒注意喚起不測のため、アンダーパス手前に立看板を追加設置する。



- ③ 冠水水位が不明ではあったが行けると思った。状況の軽視。

⇒今後、当該箇所に限らず冠水箇所遭遇することを想定し、冠水路を走った場合にどんなことが起こるのか、そして冠水路を走行する際の注意点について教育を実施する。